



令和4年度

小野小だより



9月号

9月2日

「実りある2学期に」

～出来る方法を模索しながら～



夏休みが終わり、2学期が順調にスタートしています。ご家庭で今年の夏休みこそはと計画していたこともあったことと思います。3年目に入る悩ましいこの状況の中でも、夏休みの思い出は、子ども達なりにあり、みんなの前で生き生きと目を輝かせながら語る姿がありました。



体育館：夏休み作品展

今年の夏休み作品展は、保護者の方々にも公開しました。ご覧の通り、長期の休みならではの取組があり、子ども達の学びが広がっていました。お家での援助や見守りも大変だったと思いますが、一緒にしてくれたことや自分がかんばったことは、大人になっても結構覚えているもので、それが親子の良い思い出になっていることもあるでしょう。親子のふれ合いや普段できない体験は、お子様にとっての大きなエネルギーとなります。夏休み中に充電できたもの

のが、2学期の個々のがんばりに生かされるよう願っています。

まだコロナの感染状況は厳しさが続きそうです。何事も、どうしたら出来るかを模索しながら、おのビッグファミリー職員一同で知恵を結集し、充実した2学期になるよう、精いっぱい努めてまいります。引き続き、「全校生一人ひとりを大事に」を基盤に、進んでいきます。

「エアロゾル対策に集中」 *不織布のマスクを推奨します

～空気感染が主なルートと言われている～

今感染が広がっているコロナは、空気感染が主なルートになっていると言われています。感染症の専門家は、「エアロゾル感染策に集中すべき」という提言を出していました。

感染者のせきやくしゃみ、会話などから排出されるウイルスを含んだ飛沫が、重いものは短時間で落下しても、軽く空中を漂い続ける飛沫がエアロゾルになり、それを吸い込むことで感染するようです。ウレタンや布のマスクはエアロゾルの吸入を阻止するのは難しいとのこと。

学校では、教室にエアコンと空気清浄機を作動させながら、窓やドアを開け、常時換気をして授業をしています。子ども達が2学期も元気に過ごせますように、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します



「～しなさい」ではなく・・・ Let's のスタンス

一緒に
～しよう！



「～しなさい」と言われると、したくなくなるのは大人も子どもも同じです。お家では、特にそうではないでしょうか？上から目線で一方通行の命令をされると、「なんでせなあかんの」「うるさいなあ」という心の声が聞こえてきそうです。

ちょっとした言葉のかけ方で、子どもの心が開いていきます。「一緒に～しよう」この言い方が、学校や家庭で一般的になると、どんなに穏やかな空間になることでしょう。本年度の教職員研修のテーマは「教育コーチング」で、先生方も共に研修し、学んでいます。

「コーチング」は Let's のスタンスで相手と関わり、「一緒に」考え、「一緒に」ゴールをめざします。

「早く起きなさい」⇒「さあ、朝だよ、起きよう」
 「ごはんを食べなさい」⇒「いっしょにごはんを食べよう」
 「出かける準備をしなさい」⇒「出かける準備をしよう」
 「話を聞きなさい」⇒「〇〇さんの話をみんなで聞こう」
 「片付けなさい」⇒「そろそろ片付けていこうか」

「～しないで」ではなく・・・

「～しないで」という禁止用語もよく使ってしまいがちですが、こんな言い方もできますね。

「忘れものをしないで」
 ⇒「持ち物を一緒に確認しよう」
 「もう遊ぶのはやめなさい！」
 ⇒「時間になったから次は〇〇しよう」



2 学期「始業式」 ～5 つの子ども像～

歴史ある小野小学校に、ずっと引き継がれている「5 つの子ども像」があります。児童昇降口には木彫りのものが掲げられ、各教室にも貼られています。この夏休みに、新調して掲示しました。

1 学期の始業式にも話をして子ども達に意識づけはしましたが、2 学期ももう一度話をしました。「この5 か条を全校生が守れたら、日本一の学校です！」この5 つができれば、人として、立派なものです。社会で生きていく上で、大事な礎となるものです。受け継がれている5 つの子ども像が理想ではなく、子ども達の心身に入っていくよう取り組んでいるところです。

全員これができたら
日本一の小野小学校！



はりきって廊下そうじをしている子ども達

【育て小野っ子5か条】	
①	気持ちのよいあいさつをする 
②	正しい言葉づかいをする 
③	廊下は静かに右側を歩く 
④	時間（チャイム）を守る 
⑤	そうじを熱心にする 